



グルマリー・チッドヴィラーサーナンダによる教え

信じる心を持ちなさい

インドのシッダ・ヨーガ・サンガムのためのサツァング

2020年7月9日 木曜日

バガヴァーン・ニッテャーナンダ・テンプルにて

2020年7月9日 木曜日の「テンプルの中にいなさい」のサツァングは、「シュリー・グル・ギーター」の朗唱と共に、最高の吉兆さにあふれて始まりました。この朗唱に引き続き、グルマリーはこれらの教えを与えました。

「シュリー・グル・ギーター」。「シュリー・グル・ギーター」。一緒に、私たちは皆「シュリー・グル・ギーター」を朗唱しました。

このごろ私は、「皆さん、いかがお過ごしですか？」と聞く必要がありません——なぜなら、あらゆる国の新聞が、何が起きているかを語っているからです。メディア全体が語っています。私たちは何が起きているかを読むことができます。みんなが不幸です。みんなが苦しんでいます。

そんな中で、人々が元気かどうか、どうやって尋ねればよいのでしょうか？

それでも、私は「いかがお過ごしですか？」「皆さん、うまくやっていますか？」と尋ねることはできるでしょう。しかしそうしたら、どのような答えを受け取るのでしょうか？ どのような種類の答えを受け取るのでしょうか？ もしあなたが、「はい、私たちは皆本当に元気にやっています」と言うなら、私は「あなたが住んでいるのはどこの惑星ですか？」と、疑問に思わざるを得ません。

このところ世界中で起きていること、この病気のため、このパンデミックのために、私たちは、誰が私たちに属しているか——つまり、どの人々が私たちと同類であり、どの人々が自らの思惑を持っているのか——を知るようになりました。

私は困難な時には、人々と一緒にいるものだ——共に働き、そして持っているものを分かち合うものだ——思っていました。しかし実際に見えてきたのは、人々は自分勝手であるということです。人々は利己的なのです。

もし世界全体が協力するならば、やり遂げられないことなどあるでしょうか？

神は私たちを信頼してこの地球を預けました。けれども**私たちが**この地球と作り上げてきた関係はどんなものでしょうか？ これは問い掛けるに値する質問です。私たちはこう問い掛けなくてはなりません。「この地球と私たちの関係とは何か？ この地球と私たちのつながりとは何か？」

米国では、もう誰も人の話を聞かないことが観察されています。医師たちが亡くなっています。看護師たちが亡くなっています。実に多くの人々が私たちのために、自らの命を犠牲にしています。それなのに、人々は海岸に出掛けたがり、バーに行きたがり、買い物に出掛けたがります。彼らはただ楽しみたいのです。何千人もの人々がこのパンデミックのために亡くなっている時に、どうすれば楽しもうなどという考えが人々の心に起こるのでしょうか？ どうすれば？

兵士たちが自分の命を犠牲にすると、少なくとも彼らは殉職者となります。しかし、自らの意思で自分たちの命を危険にさらし、この病気で死ぬ時、人は何になるのでしょうか？

私たちは、常に疾患に苦しんでいるローギーのように、この世界で生きたいのでしょうか、それともヨーギとして生きたいのでしょうか？ これは問うべき重要な質問です。もし私たちがヨーギのように生きたいならば、もちろん自分のつかの間の楽しみを数日間忘れることができるでしょう。このことに関して、あなたがどんな立場をとっているか考えてごらん下さい。

人はどのように、「いかがお過ごしですか？」と聞くのでしょうか？

最近、ある見解を話してくれた人がいました。人が生きている時には、誰も彼らに「いかがお過ごしですか？」と聞きません。しかし、彼らが死ぬと、**やっと**人々は聞き始めます。「彼は元気でしたか？ 彼女はどうでしたか？ 彼らは何を体験していたのですか？」

ですから、この時点で私たちはジレンマの中にいることが分かります——なぜなら、私たちはどう人々に元気ですかと尋ねるとよいのでしょうか？

もし人々がヨーギのように生きているなら、私たちは、「今日はいくつのアーサナを行いましたか？ 今日瞑想をしましたか？ チャンティングはどうでしたか？ 誰かに親切に、礼儀正しく、優しく話し掛けましたか？ ご両親はお元気ですか？」と聞くことができます。

けれども、人々がのんびりと楽しみたいのなら、彼らにいかがお過ごしですかと尋ねることはできません。どんな類いの答えを彼らはするでしょう？

世界はこのパンデミックによって、非常な困難の真ただ中にいます。インドの教典は犠牲について語ってきました。そうです——この時期、犠牲が必要です！ 楽しみが必要なわけではありません。犠牲が必要なのです。規律が必要なのです。あなたが他の人たちと楽しく話し、互いに助け合い、自国の指導者たちの指示をよく聞くことが重要です。

あまりにもたくさんの人々が愚かにもその命を失っています——非常に多くの人々です！ なぜでしょう？ 私には理解できません。

医師や看護師たちは、人の話に耳を貸さない人たちでさえ面倒を見ています。何と寛大な医師や看護師たちでしょう！ これは彼らの偉大さです。彼らの心はとても大きいのです。

今日、私たちは一緒に「シュリー・グル・ギーター」を朗唱しました。実に素晴らしかったです。あなた方の心の中にある幸せを体験することができました。だからこそ、私はあなた方にいかがお過ごしですかと聞く必要がないのです。なぜなら私は知っているからです。

あなた方は信じる心を持って朗唱しました。献身を持って朗唱しました。喜びと感謝を持って朗唱しました。それが、この「シュリー・グル・ギーター」の朗唱がこれほどに美しかった理由です。

思い出してください。これらの言葉から輝き出す光線はあなたと共に在ります。そしてあなたはまた、他の人々にその光を与えることができます。あなたが他の人々に手を差し伸べる時、あなたの心の中にあるその光線があなたの手のひらから流れ出て、彼らに届きます。意図を持ちなさい。あなた故に、誰かがほほ笑むように。あなた故に、誰かが笑うように——彼らは心から笑うでしょう。

「シュリー・グル・ギーター」を朗唱した時、私たちは「タスマイ シュリーグラヴェー ナマハ、タスマイ シュリーグラヴェー ナマハ、タスマイ シュリーグラヴェー ナマハ」と繰り返しました。「私はシュリー・グルに敬意をささげます」

ではこれから、「シュリー・グル・ギーター」のこの詩節——第32節——を歌います。私が「グルル・ブラフマー グルル・ヴィシュヌル」を歌うので、あなた方は同時に「タスマイ シュリーグラヴェー ナマハ、タスマイ シュリーグラヴェー ナマハ、タスマイ シュリーグラヴェー ナマハ」を歌ってください。



信じる心を持ちなさい。勇気を持ちなさい。

臆病さ——いいえ。

恐れ——いいえ。

愛——そうです、絶対に。

強さ——そうです、確実に。

恥——いいえ。

自信——素晴らしい。

首相のナレンドラ・モーディー氏があなた方皆に言ったように、「人に頼らず自立していきましょう。皆が自立するべきです」

私はこれらの言葉を聞いた時、とても気に入りました。「自立」——そうです。

どうしたら他の誰かがあなたを幸せにしてくれるだろうかと思わないでください。その代わりに、こう考えてください。「私はこの人を幸せにできるだろうか？」と。なぜならあなたは他人がすることを当てにはできないからです。彼らはどんなことを考えるか分かりません。そしてどんなことをするかも分かりません。それが、このパンデミックの期間に私が見ていることです。

人々は言っています。「私は政府が言っていることなんかやりたくない！」。聞いてください、親愛なる皆さん。政府があなたにこうしなさいと言っていることは、あなた方のためではないのですか？ あなたの命を守るためではないのですか？ 専門家たちが言っていることは、私たち皆にとって有益で心身の幸福のためになることです。今は傲慢(ごうまん)さを見せる時ではありません。グルを崇拝しなさい——はい、そうです！ しかし、そこにグルール——傲慢さ——の余地はありません。これほど多くの傲慢さの必要性は何ですか？ このあらゆるプライドの必要性は何ですか？ このような時には、私たちはすべての人のことを考えなくてはなりません。私たちはすべての人の健康を考慮し、善良で有益な行為をしなくてはならないのです。

自立。

米国では、人々は「フェイク(うその)ニュース、フェイクニュース、フェイクニュース」、あるいは「オルタネイト(代替の)ニュース、オルタネイトニュース、オルタネイトニュース」について話します。彼らは本当のニュースのことさえ偽物だと言います！ 彼らはそれを「代替の」と言っています。このこと自体がすごく偽りではありませんか？ このこと自体が茶番ではありませんか？ 人々は他人をばかにしています。彼ら自身が放逸に楽しみたいがために、ばかにすることによってその人々の評判を傷つけます。

今この時期は他の人々をからかい、ばかにする時ですか？ いいえ、いいえ、違います。

パンデミックに関して、実に多くの対立する情報が飛び交っています。ある人々は「私たちはこ

れをすることができる」と言っていますが、他の人々は「私たちはこれをすることはできない」と言っています。誰かが「こういうことが起こり得る」と言います。そして、他の人々は「これは絶対起こり得ない」と言っています。

シッダ・ヨーガの道において、間違いなくあなたができると知っていることが一つありますが、それは信じる心を持つことです。絶対に、あなたは強い信じる心を持つことができ、それがさらに強く育つようにすることもできます。信じる心が正しいかあるいは間違っているか、良いか悪いかなどと心配する必要はありません。今この時、信じる心はまさに必要とされるものです。あなたが信じる心を持てば、すべてのことは良くなり、すべてのことが吉兆なものとなります。そうです、そうなります。

信じる心を持ちなさい。勇気を持ちなさい。誰にでも愛を持って語り掛けなさい。誰が助けを必要としているのかに気を配りさい。そして、次回、私が「いかがお過ごしですか？」と尋ねたら、あなたは満足して、すべてうまくいっていますと答えることができるように、あなた自身の面倒もよく見なさい。それが私に大きな喜びを与えてくれるでしょう。

大きな喜びと言えば——今日、あなた方皆と「シュリー・グル・ギター」の朗唱をしたことは、私にたくさんの幸せをもたらしました。テンプルの中、バガヴァーン・ニッテャーナンダの面前で、「シュリー・グル・ギター」の朗唱を始める直前に、私たちは意図を立てました。私の神への祈りは、皆の意図が実現することです。

あなたは神からどのような贈り物を望みますか？

神からどのような**種類**の贈り物を望むのでしょうか？

あなたは何を神に願いますか？

お願いする前に注意深く考えなさい——なぜなら、シッダ・ヨーガの道において、私たちは、人生で起こることは何であれ、ある時点で自分たちが意図したに違いないと信じているからです。その意図は実を結び、そうなったなら、私たちがどれほど自分の運命を呪おうと——どれだけ自分の宿命のせいにし、どれだけ泣き叫ぼうと——私たちを慰めてくれる人を見つけることはないでしょう。ですから神に何かを願う時には、お願いする前に注意深く考え、自分が何を願っているかを理解するべきなのです。

皆さんと「シュリー・グル・ギター」の朗唱をしていると、私はガンジス川で沐浴(もくよく)をしたかのように感じます。絶対的な純粋さ——これが、私が体験していることです。私はシュッダター、純粋さを体験しています。

そろそろシッダ・ヨーガ・ユニバーサル・ホールで、さようならを言う時間です。

しかし、あなた方に覚えていてほしいことがあります。

勇気を持ちなさい。幸せでいなさい。

勇気を持ちなさい。幸せでいなさい。

勇気を持ちなさい。幸せでいなさい。

神はあなたに実に多くのものを与えてきました。

神はあなたに実に多くのものを与えてきました。

毎日、神にこう言いなさい。「あなたは私に実に多くのものを与えてくださいました。あなたは私にすべてのものを与えてくださいました。どうぞ私にあなたの愛を授け続けてください、そして、私が常にあなたの足元に愛をささげられますように」

世界中のすべての人に、親切、礼儀正しさ、そして良いマナーを持って接しなさい。

よい考えを持ちなさい。

よい生き方をしなさい。

他の人々や世界に良いことをしなさい。

常に、「私はシュリー・グルの恩恵という避難所で生きたい」と思いなさい。

あなたのための私の願いはこうです。

あなたの知性が常に好ましく吉兆な
方向へと動きますように。

それが永遠に正しい軌道にありますように。

